

令和3年度 学校評価書 (計画段階・実施段階)

福岡県立直方高等学校

自己評価 学校運営計画(4月)
学校運営方針
昨年度の成果と課題
コロナ禍において、生徒が自発的、主体的に活動する学校行事の多くを中止または縮小せざるを得ない状況があり、上級生が下級生に伝える「直高のよき伝統」の継承が困難ではあった。しかし、オンラインを活用しての行事や密を避けながらの取組など、生徒や職員が工夫しながら取り組むことができた。進路に関しては、個別指導の成果があり、生徒の多くが第1希望の進路実現を成しえた。本年度は学習面において、個別最適化をめざし、個に応じたきめ細やかな指導で学力の伸長を図るようにする。また、本校を志願する生徒が減少している状況を真摯に受け止め、より一層の広報活動に加え、地域に愛される直方高校を目指し、教育活動の特色化と魅力化に尽力する。

学校関係者評価
評価(総合)
自己評価は
A: 適切である
B: 概ね適切である
C: やや適切である
D: 不適切である

評価項目 具体的目標 具体的方策 評価(3月) 次年度の主な課題
教科指導 基礎学力の向上
学習環境の整備
生徒指導 いじめ防止
学校の活性化
進路指導 適正なキャリア発達の促進
第一進路志望実現の支援
環境保健 生徒支援の充実
健康意識の向上
情報図書 図書活動の活性化
教育の情報化の推進
人権教育 人権に関わる実態把握と、その課題の明確化
修学支援委員会による情報共有から、指導・支援につなぐ
研修 校内研修の活性化
研修の成果の共有
企画広報 広報活動の活性化
ホームページ運用の活性化
第1学年 主体的に学ぶ態度の育成
協働的に学ぶ態度の育成
第2学年 学習意欲の向上(基礎学力の定着)
リーダーの育成
第3学年 学ぶ態度の育成
最上級生としての責任と誇りを自覚させる
スポーツ科学コース 人間力、自立的活動力の育成
小中学校対象、体力テスト補助の実施
事務室運営 経営参加型の事務室業務の推進

項目ごとの評価 学校関係者評価委員会からの意見
評価項目以外のものに関する意見

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

改善策記入欄